

		学習・教育目標とJABEE基準1.2との対応関係									
		基準1.2の知識・能力	(a)地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	(b)技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解	(c)数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらに応用する能力	(d)当該分野において必要とされる専門的知識とそれらに応用する能力	(e)種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(f)論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	(g)自主的、継続的に学習する能力	(h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	(i)チームで仕事をするための能力
学習・教育目標		電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野の学士課程プログラムに関する分野別要件			コンピュータ、ソフトウェア、情報等に関する工学教育プログラム：・論理回路、情報理論、データ構造などの知識・上記の知識を組み合わせることも含めた应用能力	プログラムの学習・教育到達目標の達成に向けた学習・教育内容に含まれる工学的な機能および概念を組み合わせた複雑なシステムに関する知識	プログラムの学習・教育到達目標の達成に向けた学習・教育内容に含まれる工学的な機能および概念に関する実験を計画・遂行し、データを正確に取得・解析し、工学的に考察する能力	プログラムの学習・教育到達目標の達成に向けた学習・教育内容に含まれる工学的な機能および概念を他者に正確に説明する能力			
(A)	国内外の多様な社会で活用できる科学的知識とリベラルアーツを身に付けている。	(A1) 現代社会について自国の文化・歴史を踏まえつつ、自分とは異なる文化圏を理解し、他者・他国の立場で物事を考えることができる (a)	◎								
		(A2) 社会や環境に与える影響を考慮し経済的・倫理的な視点から考えることができる(b)		◎							
(B)	ハードウェア、ソフトウェア、通信ネットワーク・システムの高度な専門知識を修得し、その知識を創造的技術開発に応用・実践し社会実装できる。	(B1) 工学分野における諸現象のしくみを数学的・物理的に理解できる(c)			◎						
		(B2) 電気・電子分野及び通信分野について論理的に説明できる(c)			◎						
		(B3) 情報分野について論理的に説明できる(c)			◎						
		(B4) 複合分野にわたる知識を身につけ有機的に結び付けることができる(d)				◎					
		(B5) 電気・電子分野及び情報分野のハードウェア・ソフトウェア実験・実習を通して、工学的に考察し活用することができる(e)					◎				
(C)	自分の意見を明確にしつつ、多様な人々との協働を可能にするコミュニケーション能力を身に付けている。	(C1) 外国語により書かれた文章を理解し、文章や口頭発表により表現することができる(f)						◎			
		(C2) 共通の制約条件の中、個人及びチームで計画的にPJを進め、創造的なシステムを実現し表現することができる(e, h, i)					◎			◎	◎
		(C3) 研究活動を通して学内外での発表によるコミュニケーション能力の習得や研究・学習状況の把握・記録を習慣づけ、自主的・継続的に学習することができる(f, g)						◎	◎		